

プリントス株式会社

愛知県一宮市

需要獲得

サービス

管理の難しい樹脂製銘板の一貫生産に強み さらに一般消費者向けへとサービスを拡大し差別化

日常生活で目にする公共交通機関の券売機や病院の無人精算機の表示パネルなどに使われる樹脂製銘板を、設計から印刷、加工まで一貫して生産する特殊印刷メーカー。通常の印刷メーカーが避ける個人クリエイターや消費者を顧客とするサービスを展開し需要拡大を図る。2019年には納期・品質管理を徹底するために新工場を竣工。工程の自動化による生産量の拡大、クリーンな生産現場など従業員が働きやすい環境を実現し、拡大する需要に対応する体制を整えている。

所在地 愛知県一宮市佐千原垣崎61
電話/FAX 0586-52-5077/0586-52-5088
URL <https://www.printos.co.jp>
代表者 代表取締役社長 堺 貴弘

設立 1977年
資本金 1,000万円
従業員数 28人



通常の印刷メーカーは行わない「ものづくり」と「サービス」で需要を獲得

通常、異物を嫌う印刷メーカーが樹脂加工を自社で行う事は少ない。環境管理や現場の5S管理の徹底が大きな企業価値となる。さらに2013年からBtoBだけでなく、個人クリエイターの作品や一般消費者の記念品向け印刷サービス「マイカラーマート」を開始した。類似のサービスを行う他社では敬遠する少量のオーダーや破損・不具合のクレームが懸念される利用者の持ち込み品にもあえて対応する。通常の印刷メーカーが避けるサービスに取り組むことで需要獲得を実現した。



マイカラーマートで写真印刷した積み木

新分野の顧客ニーズを直接聞き取り製品・サービス開発に繋げる

交通インフラ以外の他分野のユーザー開拓に取り組み、既存分野と異なる機械・機器メーカーが出展する展示会に印刷メーカーとして出展したことで、病院設備や医療機器向けの需要を獲得し、新たな事業の柱へと成長させた。新たな分野の顧客要望をヒントに、2010年には大手ECサイトを活用して後づけできる点字シートを商品化した。その後も視覚障害者のニーズを直接聞き、カラー点字を商品化するなど、同社の製品を通じてコミュニケーションストレスのない地域社会づくりにも貢献している。



視覚障害者のニーズに応えたカラー点字

ウィズコロナを見据えて新技術を実用化

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、ウィズコロナへの対応にいち早く取り組んだ。印刷用の透明インキに抗菌剤を混ぜ合わせて印刷することで、抗菌効果を施す技術開発を行い、JISで定められた抗菌性試験により効果を実証・測定することができた。これを受けて2020年10月から抗菌スペースを視覚化した「抗菌印刷」や「抗菌点字」の販売を開始、多くの人々の新たな日常を支える製品・サービスを提供している。



ウィズコロナに対応する各種抗菌商品

需要獲得

サービス